

全国大会ナイター

2017. 07. 31 (月)

長崎ホテル清風

二階堂泰全

【編集：浜野純一】

● 植民地より前の話

韓国＝朝鮮の戦後の話をしていきますが、その前に知っておいてほしいこともあるので、すこし話しておきます。韓国＝朝鮮は第二次世界大戦まで日本の植民地でした。その前はどうか知ってますか？ 大韓帝国です。じゃあ、その前は？

李氏朝鮮の朝鮮王国です。これは、まあ普通、知らないわね。(笑)

朝鮮王国っていつできたかっていうと、1392年です。そのいきさつを話しておくとして、朝鮮王国の前に「高

李成桂

麗」という国がありました。「コリョ」日本読みだと「こうらい人参」の「こうらい」です。中国で元と明が戦っているときに、元の王様が「オレの味方をして明を倒さないか」という話をもってくるんですよ。1392年より前の話ね。そしたら、高麗の王様は「いいよ。元と協力して明をたおそう」って返事します。そして、「おまえ、明をやっつけにいったらいい」って將軍を行かせるの。その將軍は、李成桂（りせいけい、1335-1408）という人です。

その李成桂という人は、明をたおしにいったはずなんだけど、高麗の王様をうらぎって、明に味方して元を追っばらいます。さらに国に帰ってきて、高麗の王様も追っばらっちゃう。そして、自分が王様に就いちゃうの。李成桂は、明の王様に「私は明の家来とし

てやっていきますから、よろしく」ってやっていくわけです。

中国の王様と韓国の王様は、どういう関係か？「冊封体制」って聞いたことはありませんか？中国の王様がいて、近くの国に「おまえは王様をしていいよ。この冠をあげる」って、中国の王様が周辺諸国の王様を任命して、それゆえに周辺諸国の王様は「私は王である」と言える体制。別の言いかたをしたら「中華思想」です。「華夷秩序」とも言います。「中華思想」と「華夷かい秩序」は同じことです。こういう思想がアジアにはあったの。

いまの中国の習近平（1953- ）は、「あれは、よかったね。こういう関係にもどしたいね」ということを平気で言うんですよ。こんな関係って民主的じゃないでしょ。「アメリカの民主主義が世界の秩序だと思ったら、大まちがいですよ」って、公然と言ってるんですよ。それでアメリカは、中国とあんまり仲よくなれない。歴史がわかる人というか、こういうことを知ってる人は「なんか恐ろしいことを言うね」という感じがあるの。

● 儒教の国

高麗の王をうらぎった将軍がたてた国が朝鮮王国です。だから、朝鮮王国は、中国の明を親分とした従属関係で成り立っていた国です。なんでそういうことになるのかというと、その考えかたのもとになるのは儒教です。

儒教って、孔子の教えということですが、宋の時代に朱子しゅし（朱熹しゅき、1130-1200）という人が発展させて、「朱子学」というのが盛んになるんですけど、朝鮮王国はそれを国教とします。儒教って聞いたことあるでしょ。「お父さん、お母さんを大切にしよう」とか、「目上の人を敬いましょう」とかいうの。秩序を大事にするんですよ。

国の関係で言うと、中国を中心とした華夷秩序があるでしょ。「これをキチッとやるんだ」という思想が根底にあります。

儒教の根底には、こういう世界観があります。中国を中心として、上下関係をきちっとするんですよ。秩序ある美しい国にする。てっぺんにいる王様は、徳をもって庶民をみちびいていく。「徳がない王様が国をおさめると、天変地異が起こる」というんですよ。天命によって滅ぼされて、つぎの王が現れる。そうやって中国は王朝が交代してきた。これが儒教の思想なの。その中国と周辺諸国が秩序だったのがアジアの伝統的な社会です。そういうなかに朝鮮王朝ができたわけです。

その朝鮮王朝は、1392年にできましたが、ずーっとなつづくんですよ。1850年でも朝鮮王国。だから、500年ぐらいつづくの。

李成桂は、儒教を国教とします。国の教えにしちゃう。そして、ほかの教えを禁ずる。私たちの常識だと、仏教を伝えた国だから、朝鮮も仏教の国だというイメージがあるでしょ。たしかに高麗は仏教国でした。でも、朝鮮王国は儒教の国にしました。

「儒教と仏教は、別に対立しない」そんなことはないですよ。仏教は「悟りをひらく」んでしょ。禅宗なんて「空になる」なんていうでしょ。「我を忘れて、欲をもたない」でしょ。ところが儒教はちがうんですよ。「秩序をキチッとする」のが大事で、欲をもつてもかまわないんです。「現実の社会のなかで、どうやって秩序をつくるか」が問題なんです。「なんだ、仏教は。現実から逃避して」「空だ？ そんなことを言ってるから、うまくいかなんだ」「輪廻転生とかいって、現実の社会のことに振り向きもしない。けしからん連中だ。お寺なんか認めるわけにはいかん！」というのが儒教を国教としたものの立場です。だから、朝鮮王国の王様は、仏教を排斥します。「仏教排斥」って明治の日本のことみただけで、それより先に朝鮮でしています。だから、いまでも、ソウルの真ん中にはお寺はないんですよ。キリスト教の教会は、あとから入ったからあるんだけど、仏教のお寺は山の上に追いやられちゃうんです。大きいお寺は、山のなかにあります。

男性 儒教って宗教なんですか？

宗教の定義ができないんですよ。「宗教ってなに？」ってことがむずかしくなんの。そっちの話にいつちゃうと、また長くなるから、やめておきます。儒教って、そういうものなの。

かずき 儒教のお寺にあたるものってあるの？

陶山書院（慶尚北道 安東市、1560 建設。旧 1000 ウォン札に載っていた）儒教の私塾

あります。孔子廟というのがあります。湯島聖堂って東京にもあります。行ってみてください。湯島聖堂ってお寺みたいなもんだと思って行ったら、建物が真っ黒なんですよ。そのなかに孔子の像があったりします。

儒教というのは、ずーっとむかしからの中国の教えで、〈むかしの漢文を読んで、孔子の教えをどれだけわかって、どういうふうには秩序正しい生活をするか〉っていうことを一生懸命に勉強するやつがえらいやつだ。とされてきました。秩序があるから、えらいやつからえらいやつまでいるんですよ。こういう秩序だてをするのが儒教なんです。

いまだに韓国は、そういう伝統をひきずっています。500 年も国教にしたら、そういう風習というのは、なかなか取れないんです。

● 国教になるとすぐには抜けない

日本だって、そうでしょ。きのう私は、長崎のキリスト教の話をしたけれども、キリスト教を追い出すために、いうなれば、仏教を国教にしたようなもんです。みんな仏教徒にしたんですから。いまも、お葬式を仏教以外でやる人は、ほとんどいないんじゃないかな。仏教以外は少ないでしょ。いまは国教とは言えないけど、風習になっていて、なかなか変わらない。

でも、江戸時代に入るまで仏教なんて、そんなにはたくさんいなかったんだから。檀家制度ができるまでは、仏教の葬式をする人なんて、そんなにはいなかったんだから。すべての家をどこかの寺の檀家にするという制度をつくったら、そういう制度がなくなっても、風習はなかなか変わらないんです。

韓国＝朝鮮の話だね。韓国＝朝鮮は、1392年から朝鮮王国になって、500年もずーっと儒教を国教としてきたんです。ところが、途中から明は清に変わるんですよ。明や清よりも、朝鮮王朝の方が長い。

明が清にかわったとき、朝鮮はこまるんです。宗主国＝〈自分が親分だと思ってる国〉が変わっちゃうんだもん。で、「どうする？」って話になんの。明というのは、漢民族なんですよ。清というのは満州民族なんですよ。満州民族というのは、朝鮮半島のすぐとなりの、文字ももたなかったような民族が、明王朝をやっつけちゃって、中国の政権をにぎるの。

中国って、おもしろい考えかたをするんだけど、これも「天命で変わった」というわけ。さっき言いましたね。中国の人は〈天命で変わったんだから、民族がどうであれ、それにしたがうのが秩序である〉という概念がどっかにあって、庶民にすれば、だれが王様になっても「あつ、また王様がかわったのね」というくらいなもんなの。

でも朝鮮は、こまるわけですよ。「どうする？ 儒教をやめる？」やめられないよね。明ができたときからつづいてるんだから。そのときに、朝鮮の王が判断します。それは「いかに上が変わっても、この秩序をきちっと守って、この教えをつらぬいていくことこそ、本当の意味での儒教徒である」と。ですから、自分たちの宗主である中国がどんなにかわっても、漢民族から満州民族にかわろうが、「われわれこそが儒教を守るんだ」「私たちこそがピュアな、純粋な儒教徒だ」ということを標榜したの。これを「小中華主義」と言います。聞いたことはありますか？

かずき　なんで、「小」がついてるの？

それは、上がいるからですよ。上をたてることが、儒教の思想そのものじゃない。上をたてることができないやつは、「なにを無礼な。それでもオマエは儒教徒か」となるわけで、それが徹底してるんですよ。そうやって、ずーっと500年もやってきたの。

● 喉元に突きつけられたナイフ

やってきたんだけど、日本の幕末のころになると、西洋人がこれに横やりを入れてくるわけ。日本にもだんだん西洋からやってくるようになって、1853年になったらペリーがやってくるでしょ。そして日本は、バタバタしながらも開国をして「西洋化する」という方針をとるわけですよ。そのときに朝鮮は、まだ儒教をやってるんですよ。清がまだ生きていたから、清の下についていたんです。まだ清は生きています。清をほうむるのは孫文

ですが、そのキッカケをつくるのは日本なんです。日本の幕末のころに清はヨーロッパにいろいろやられますが、まだ生きています。

その清と朝鮮は、ずっと 500 年の関係をつづけているわけ。そのときに日本は、幕府がたおれて、明治政府ができた。日本が恐れていたのは、諸外国からの植民地化です。「わが国が植民地化されたらどうしよう」というのがある。それで「はやく西洋文明をとりいれて、近代国家にならなきゃならん」とやった。

そのときに一番大きなはたらきをした人のなかに福沢諭吉（1835-1901）がいます。福沢諭吉っていうのは、官僚でもなんでもない。江戸時代は武士なんだけど、佐賀藩の下っ端です。それなのに、一般の人びとに対する啓発活動がすごくすぐれていて、『学問のすゝめ』（1872 初編）なんて、ものすごく売ったわけです。何十万部ですよ。それぐらい、みんな本が読めたというのも、すごいことなんだけど。それだけすごい影響をあたえたんです。「西洋化しよう」「個人主義はいいもんだ」「科学はいいもんだ」というのをどんどん啓発するんですよ。それに感化された日本人がいっぱいいる。

そういうなかで、「植民地化はこわいね」と言ってるときに、まわりを見たら朝鮮があるわけでしょ。

山縣有朋

朝鮮は「日本の喉元につきつけられたナイフみたいな国だ」って言われたわけ。もし韓国がヨーロッパやアメリカなんか植民地化されたら、つぎは日本がねらわれる。だから朝鮮には「いまみたいな 500 年も前の体制をず〜っと引きずるんじゃなくて、日本と同じようにサッサと近代化して強い国になってもらわないと、日本があぶないことになる」って、山縣有朋（1838-1922）なんか一生懸命に主張するのね。

朝鮮は「そんなの知りません」という感じで 500 年の伝統を守ろうとする。ところが、朝鮮にもフランスやアメリカは「開国しろ」って行くわけです。そろそろ日本の情報も入ったりすると、「日本は開国したそうだ」「近代化したそうだ」って、グラグラしはじめなんです。日本は朝鮮に「あんたんとも、はやく近代化して、もう王国なんかやめちゃって、近代国家になりなさいよ」って言うんです。でもね、朝鮮は鎖国してて、「なにを言ってるの。わたしたちは正しい国です。中華主義でやっていきます」って受け入れないわけ。受け入れないから「征韓論」というのが広まります。

「征韓論」が出てきたのは、明治維新のあとすぐです。日本は「今度、天皇中心の体制に変わりましたよ」って韓国に使者をおくったんだけど、そのなかに「皇」の文字が入っていた。「皇」の文字が入った文書を韓国に送ったら、韓国は受けとらなかつたの。なんでかわかりますか？ 韓国にとって「皇」の文字がつかえるのは中国の王様だけなの。そういう文化をずーっと引きずってるの。日本は、そんなことをされて、怒ってしまう。それで「あんなやつ、たおしちゃえ」と出てきたのが「征韓論」です。

● 日清戦争と三国干渉

韓国の中にも、だんだん「そうだ。日本の言うとおりで」って、日本に勉強をしにくる人たちが出てくるの。福沢諭吉のところに勉強しにきたりするの。そういう人たちが韓国に帰って、王様に「なんとか開国しませんか」「近代化しませんか」という話をしだして、韓国もガタガタしだすんですよ。「どうしたらいいんだろう？」って。

韓国は、王様一族がもめるの。あとつぎをめぐって、すごくゴチャゴチャするんですよ。ゴチャゴチャしているときに「近代化しないと危ないよ」という若者たちのグループが出てくる。それに対して「いやいや、この500年つづいた小中華主義を守るんだ」という人たちもいるわけです。「500年もつづいたら、そんなに簡単につぶしたらダメだよ」というのも、わからないではないね。そういうのがやりあっている。

それと、日本は「独立しろよ」って言う。清は「なにを言ってるの。つづけなさい」でしょ。このゴチャゴチャ、ゴチャゴチャもめた結果が日清戦争(1894)なんですよ。

ソウルの独立門（清からの独立を祝った門）

日清戦争が終わったら、下関条約を結んで決着をつけたの。下関条約の条文の第一条には「韓国＝朝鮮を独立国として認める」って書いてあるんです。これ、私、高校のときに知って、意味がわからなかったの。「なんで、日清戦争で韓国の独立を認めるんだ？」これが第一条にあるの。日本の主張がそうだからなんですよ。韓国が清の属国であつたら日本は心配なの。だから、韓国の独立を認めるってやった。

で、日清戦争で日本が勝っちゃったもんで、それを清が認めるでしょ。すると、清の方から韓国の王様に対して冊封ができないんですよ。これが切れたってことなの。朝鮮の王様を任命してくれる国がなくなった。国を変えなきゃしょうがない。それで変わったのが大韓帝国なんですよ。

ただし、帝国だから皇帝なんですよ。その皇帝はだれがなったのか？ 朝鮮の王様がそのままなただけだったの。日本は「近代化しろよ」ってやってきて、大韓帝国は憲法もつくったんだけど、憲法を見てみたら「韓国皇帝は専制君主である」って書いてあるの。「なんだ、これ？ こんなの、ぜんぜん近代国家じゃないじゃないか」って言っていると、今度は、日清戦争で勝ったはずの日本がやられるんですよ。

「三国干渉」って聞いたことあるでしょ。日清戦争で日本が勝ったけれども、ドイツとフランスとロシアが「おまえ、いいかげんにしろよ。取りすぎだ。返せ」ってケチつけてきます。あれは、清にその三国が金を貸していて、負けて返ってこないことを心配したふしもあるんだけど、とにかく三国が日本に対してケチをつけます。

日清戦争に勝った日本は、遼東半島と台湾と三億円の賠償金を得ました。そんなことがよくテストに出ますけど、「おまえ、やりすぎだ。遼東半島を返せ」って三国が言うてくる。そんなん、日本と清でもない、韓国でもない国なのに関係ないでしょ。「返すな。返すな」という世論があつただけけれども、明治天皇は「これは返さなかったら、やられ

ちやう」って泣く泣く返したの。「明治天皇が泣いた」というのは有名な話です。

● 日英同盟と日露戦争

そしたら、それを韓国ではどう見たかという、「日本は、戦争で朝鮮と中国を切りはなしたけれども、あれ、よわっちいぞ。

高宗（大韓帝国皇帝）

もっと強いのがおる。ロシアだ」というんで、今度は王様がロシアの公使館に入って、そこから政治をするようなことをしだすの（1896）。そのときに「近代化をすすめている＝日本の命令をきいている、あの大臣とあの大臣とあの大臣をつかまえて処刑しなさい」って命令したりする。メチャクチャだと思っただけでも、500年つづいている官僚国家ですから、そんなことでも王様の言うことはきくんですよ。近代化をはかる官僚、日本に留学していたような、新進気鋭の有能な人材を処分します。

それに対して日本は怒ったんだけど、ロシアの大使館にいるもので、なかなか手は出せなかった。

そのロシアが、じつは中国でもめごとがあったときに居すわります。「北京の大使館が中国の反乱軍に占領されてしまう」という義和団事件（1899）が起こったときに8カ国が鎮圧に向かいます。近代的な軍隊でバツと征圧して、どこも帰ったんだけど、ロシアの軍隊だけは帰らずに満州に居すわったの。

その状況と、韓国がロシアをたよりにしている状況とを見て、日本は「ちょっと待て。このままでは、韓国＝朝鮮はロシアの領土にされてしまう」というんで、「ロシア出ていけ」って言うの。でも弱いよね。遼東半島を返したぐらいだから。

そのとき日本に強い味方ができるんですよ。それはイギリスです。イギリスもロシアが出てくることを警戒して、「日本がんばれ！」というので、1902年に日英同盟を結びます。

日英同盟を結んだ日本は、「強い味方ができた」って気をよくします。アメリカなんか「ロシアはひどい。日本、行け行け」っていう感じになります。そういう後ろ盾ができて、日本はロシアに「出ていけ」って言うのにロシアが出ていかないから日露戦争（1904）になっちゃうんです。

日露戦争になって、勝っちゃうんですよ。今度は、アメリカのポーツマスで条約を結びます。日露戦争の条約をアメリカで結ぶなんて、なんかヘンですね。これは、最初から日本がねらっていたことで、「ロシアなんかには勝ってこない。タイミングをみて和睦しよう」って考えているわけ。で、日本海海戦に勝って、ロシアの国内が革命騒ぎになって、「いまだ！」っていうときに、日本から持っていってもうまくいかないから、アメリカの大統領を通じて、「もうやめろよ」って言うてもらおうように工作しておくんですよ。

北村 それって、二階堂さんは勝ったって教えてるの？ 私は勝ったって教えない。ポーツマスの講話にもって行くわけでしょ。それを勝ったとは言えない。

そうですか。要するに日本のねらいは何かといたら、朝鮮からロシアが手を引くことなんです。そしたら安全でしょ。それをめざしたわけ。それをめざしてて、軍事的に優位に立ったときに講話を結んだ。日本海海戦で勝って、二百三高地でも勝った。勝っていたときに条約を結んだ。もし、ロシアが本気になって、ヨーロッパの方にある軍隊を送ってきたら、勝てっこなかった。「いまがチャンスだ」というんで、うまいこと立ちまわって、アメリカに仲裁してもらって、ポーツマス条約を結びます。

その条約の内容は、日本が賠償金をとれたわけでもないし、領土もひろがるわけでもなかった。そのようなものだったから、日本の国民は「なんだ。10 万人も死ぬような戦争をしておいて」って、東京の日比谷で新聞社や交番が焼き討ちに合う（1905）というような暴動が起きたりしたんです。

そんな世論はわかってたんだけど、「これ以上やったら勝てない」ってわかってたんで、明治政府は戦争をやめちゃったの。

● 日韓併合条約

でも、とりあえず軍事的に優位な立場で終わったから、ロシアとの約束のなかで「朝鮮には手を出さない」「朝鮮に対して干渉できるのは、日本が一番であることを認める」という約束はとりつけます。

それで、「あ〜、やれやれだ」というので韓国の近代化をはかるんだけど、もう、こんな韓国の王様は、何をするかわからないから、「内政をするときには、日本の顧問の言うことをききなさい」という条約をまず結ばせるの。こうなったら、しぶしぶでも結ぶんですよ。それから、「外交を結ぶときは、日本の指示にしたがうこと」という条約を結びますが、これは第二次日韓協約（1905）と言います。第三次日韓協約（1907）で「軍事力を解体」して、「日本と一緒にしましょう」という条約を結んで、1910 年に日本の植民地になります。

こういう経緯なんです。日清戦争と日露戦争は、すごく関わっているわけ。こんなふうに日本は、朝鮮を植民地にしたわけです。

教科書でいくと、なんとなく「強引に、すぐに武力でもって、むりやり植民地にした」というふうに思えるけど、日本もそんなに強い国ではなかったんで、日本を守ろうとしてやっていた。

植民地って、なんのために取るんですか？ 基本的なことを言ったら、だいたい「産業革命のあと、自国の生産物を売りさばいたり、原料を安く手に入れる」ためでしょ。日本には、まだ大きな工業も起こってないでしょ。売るものはないんですよ。だから、もともと「植民地にすることが目的」なはずがないんです。これは、やっぱり怖かったんです。

よ。日本が植民地にされることが。山縣有朋が言ってることは、その部分では、そんなにまちがっていないと私は思います。途中から方針が変わったかもしれないけど。最初は、そうであったことはまちがいないんです。そのときの情勢に対応してきて、韓国を植民地にすることになったというのが実態ですね。

1910年に日本が韓国を植民地化したあと、第二次世界大戦までは、植民地のままです。そこから、飛ばしますね。1945年に終戦となります。

● 第二次世界大戦

第二次世界大戦が終わったとき、韓国はどういう状況だったかということ、平和だったんです。日本は、1945年の8月といたら、東京大空襲はあり、その街（会場は長崎）に原爆が落とされるは、ムチャクチャでしょ。でも韓国は平和だったんです。

たとえば、ここにメモがあるんですが、金大中（1925-2009）という、のちに韓国の大統領になる人が

金大中 2009年撮影

1945年の8月15日「天皇からの放送がある」というのを聞いてどう思ったかという文章があるんですよ。21歳で韓国にいました。読みますね。

| 12時の天皇の放送は、直接ラジオの前で聞きました
| た。放送については、事前に通達がありましたので
| 朝から待っていました。しかし、日本が降伏したことを知らせる放送だとは、まっ
| たく考えてもいませんでした。戦争に対する新たなる団結を呼びかけるものだと
| 思っていたのです。

だから、韓国の人たちにとっては、あの第二次世界大戦の終わりというのは、突然やってきましたよ。平和ななかで。

浜野 韓国は、いっさい戦場にはなっていないということですか？

そうです。なっていません。私の母親も、そのときソウルにいたんです。母親によると「ホントに突然だった」と言います。「突然だけど危ないから、すぐに帰らにゃいかんのや」という話をよく聞かされました。

美紀子 原爆が落とされたり、東京大空襲があったりしたという情報は？

ほとんど知らなかった。ようです。まあ、あったんでしょうけどね。あんまり伝えないし、関心が高くなければわからない。「新型爆弾が落ちたそうだ」と言われても、私たちだってそうでしょ。そういうものが新聞に載っても、興味がなかったら、べつに「あっ、そう言えば、前にそんなこともあったかなあ」というくらいでしょ。それくらいの意識だったみたいです。

日本のような大規模な空襲をうけることはなかったのもあって、韓国の人たちは、突然に終戦がやってきた感じだったんです。日本から移住していた人たちにとっても同じだったんですよ。

● 3・1 独立運動

日本は、連合国と戦争したんであって、植民地であった韓国=朝鮮と戦争したわけではありません。でも、もちろん、韓国=朝鮮の人のなかには、植民地化に反対した人もいました。日本が韓国を植民地にしたのは 1910 年のことです。それから 19 年後の 1929 年には「3・1 独立運動」というのが起こるんですよ。聞いたことはありますか？

1914 年に第一次世界大戦がありますが、そのあと国際的に「民族独立」ということが、ずいぶん言われるんです。第一次世界大戦後、東ヨーロッパにたくさん国ができていきます。

日本の植民地だった韓国から日本に留学しにきてる人がいっぱいいたんだけど、その人たちは、日本でそういうニュースにふれるの。ときおりしも大正デモクラシーのときですよ。そういうニュースがどんどん入ってくるの。それで、

李承晩 1956 撮影

「オレたちは日本人じゃないぞ」となるわけです。そうして独立運動を起こす。だから、3・1 独立運動というのは、日本に来ていた学生たちが韓国に帰って起こすんですよ。おもしろいもんですね。

彼らの中心はキリスト教徒でした。韓国で独立のことを話したら、ワーッと盛りあがっちゃった。そのときに日本は弾圧します。7000 人ぐらい殺戮します。

そのときに外国に逃げちゃって、「われわれこそが本当の朝鮮・韓国だ」といって逃げた人のなかに李承晩（りしょうばん、1875-1965）という人がいます。李承晩という人は、中国に逃げて、中国から「臨時政府だ」とか言います。

だけど、諸外国は「何を言ってるんだろうね、あの人は」という感じで、ぜんぜん相手にしません。

ほかにも、外国へ出て「日本とたたかうぞ」という人たちはいました。「ゲリラになってたたかうんだ」と出ていった人はいるんですよ。そういうのは、ときどき聞くと思うんですよ。

● 日本兵となった韓国人

と同時に、日本軍に入って、日本軍と一緒に戦った人もいますよ。その人たちは、志願兵です。

韓国の人たちに対して、徴兵制は最後の方までありませんでした。1944 年の 9 月かな。もう終わりごろなんですよ。ずっとなかったんですよ。だから、韓国=朝鮮の人で日本兵として戦った人は、自分から「行きませーす」と行った人たち、志願兵なんですよ。その志願兵がほとんどで、1944 年 9 月から徴用された人は少数です。

日本兵になって戦った人は、どれくらいいるか？ 朝鮮=韓国人で日本兵になった人もたくさんの方が死んでいます。どのくらいいると思いますか？ それは、靖国神社に書かれているからわかるんです。差別してないんですよ。ちゃんと靖国神社にまつてあるの。それが問題だという話もあるけどね。

美紀子 名前を見ただけでわかるの？

出身が書いてあるからね。予想しましょうか。韓国人で日本兵に志願してなって、戦死した人。徴兵制がしかれてからは、ほとんどなってないから、靖国神社に載ってる人は、ほとんどが志願兵だと言っていいと思います。植民地支配している日本とともに「たたかうぞ〜」って志願した人じゃないですよ。志願して死んだ人。兵隊はそれ以上にいました。

| 【問題】 韓国人の日本兵で戦死した人は何人いるでしょうか？

| ア. 100人

| イ. 1000人

| ウ. 10000人

(人数の記録はしてません。討論も省略します。以下も同じです。)

これね、靖国神社の名簿を見ると、2万1000人なんです。(エ〜ッ)

多い？ これは、何を意味しているんでしょうか。志願して、日本のために戦って死んだ人が21000人なんです。その数倍は死ななかつた人もいるはずですね。それが実情なんですよ。ちょっとイメージちがいませんか？ だから、植民地支配に関する理解というのは、ずいぶん歪んでいると思っています。

日本の植民地化に対して「けしからん！」って反乱した人がいるのも事実です。それから、日本が7000人も殺して、弾圧したのも事実なんです。植民地化するって、とんでもないことですよ。他民族に日本の言うことをきかせるんだから。だけれども、その植民地化を「そんなに悪いことばかりでもないよ」とらえていた人たちもいっぱいいた、ということもまた事実なんですよ。

それは、おそらく日本人がそれまでの儒教の序列をぶち壊したことが大きいと思います。それまでは身分の差も大きかったんです。「王」がいて、「両班」という役人がいて、「中人」という一般の人がいて、「奴婢」という奴隷や「白丁」という被差別身分がいたの。

韓国では、「本貫」という戸籍みたいなのがあって、父親の姓を名乗らせていただけでなくて、「どこそこの出身の金一族」「どこそこの出身の朴一族」とか、わかるシステムをとってたの。だから、近代になっても、「あそこの奴婢のあいつだ」とか、わかるんです。「そういう戸籍をやめなさい」って、やめさせたのは日本です。ただし日本は、そのあと、名字をかえて、「みな、天皇の元に平等です」ってやるから、またややこしいんだけど、旧体制をこわすのに大きな役割をはたした。

韓国の前の大統領、朴槿恵（1952-）さんがいるでしょ。朴槿恵さんのお父さん

朴正熙 1975 撮影

朴正熙（ぼくせいき、1917-1979）さんは、満州の日本兵の兵隊さんだったの。もちろん志願兵です。だから、朴槿恵が大統領になるとき、そのお父さんの評価をめぐって二分しました。「すごくいい大統領だった」と言う人と、「ろくなやつじゃない」と言う人と。朴槿恵のお父さんが朴正熙が果たした役割も、このあとで出てきますけれども、すごく大きいものがあります。

朴正熙さんは、満州国の軍の中尉だったの。中尉って、一等兵とか二等兵よりもちよっと上だね。おえらいさんです。それとか、洪 思翊（こう しよく、1889-1946）さんという人がいるんですよ。この人は「創氏改名」のあとも朝鮮名のままで日本兵になってるんですよ。その人は、大将のつぎ。陸軍大将って軍で一番えらい人でしょ。その下の中将にまでなってるんです。韓国人が陸軍中将だったんですよ。

● 事実を見ていく

戦争が終わる前、そういう状況でした。これは、かくしようのない事実なの。その事実をもって歴史を判断するとするならば、なんとなくイメージでもっている朝鮮の植民地化というものがちがってものになるんじゃないかと思います。

ぼくが、そのとき一番イメージするのは同和教育なの。むかしの同和教育は、〈被差別部落〉の人たちを暗くて貧しい存在にしていますが、事実をつきつめてみれば、そうでもない。「江戸時代の〈被差別部落〉の人たちは金持ちだったみたいだよ」ということになる、ビックリするね。それと似たような感じがあります。

さきに正義があって、それに応じたストーリーをえがくんじゃなくて、事実をみたら、「そんなでもないよ」というのが見えてくる。

そういったことがあったわけですが、日本は、戦争に負けたんですよ。「ポツダム宣言」（1945.7.26）というのを受諾します。ポツダム宣言には「日本国の主権は本州、北海道、九州及び四国ならびに連合国が決定する諸小島に限る」とあるんです。韓国＝朝鮮の文字はここには出てこない。ただし、「カイロ宣言の条項は履行されるべき」というのがあります。「カイロ宣言」（1943.12.01）というのが別に出ていたんですよ。エジプトのカイロの会談で決められた宣言です。そこには「朝鮮の人民の奴隷状態に留意し、朝鮮を自由かつ独立させる」と書いてある。だから、「カイロ宣言にしたがうんですよ」ということをポツダム宣言で言ってるから、「朝鮮を自由にしなきゃいけない」という判断で、日本の方ももめることなく、「じゃ、引きさがります」って出ていく準備をするわけです。

● 韓国・朝鮮の独立はいつか

さて、こっから問題を出しましょう。ちょっと長かったね。この調子だとあしたの五時ごろまでかかるぞ。(笑)

現在、朝鮮半島には、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の二カ国がありますね。その大韓民国は、いつ独立したと思いますか？ いつ樹立したか。1945年8月15日に終戦をむかえます。韓国は、これから1年以内に樹立したか。3年以内に樹立したか。5年以内に樹立したか。もうちょっと歴史を知ってる人は「朝鮮戦争ってあったぞ。あれは1950年だった」。その朝鮮戦争よりあとだったか。

かずき 「樹立」って何？

「大韓民国ができました」「憲法できました。国会を開設します」って言ってからほかの国ぐにが「認めます」って言ったら、樹立です。

イメージとして、韓国という国は、日本が負けてすぐできたイメージがあるか、ちょっとたって3年ぐらいかかったイメージがあるか、だいたい5年ぐらいかかったか。いやいや、すごいもめごとのあと。というイメージ。どれに近いですか。

穂澄 そのときに「朝鮮民主主義人民共和国」も樹立したの？

それは、この問題のつぎに出てきます。

| 【問題】 大韓民国は、いつ樹立したでしょうか。

| 1945年8月15日より

| ア. 1年以内

| イ. 3年以内

| ウ. 5年以内

| エ. 朝鮮戦争よりあと

(人数の記録はしてません。でも、これはバラバラでした。討論も省略)

女性 日本が樹立したのは、いつですか？

日本は樹立しているんだけど、日本が戦争に負けて占領されて、独立を回復するのは、1952年の9月8日、サンフランシスコで結ばれた講和条約によって、戦争相手国との平和条約を結んだときです。賠償とか、もろもろの約束をして、「はい、これで終わりね」って回復した。

韓国の方の答えを言ってもいいですか？ これは、1948年8月15日のことです。ちょうど3年後ですね。

穂澄 ピッタリ3年。日本より早い。

じゃ、朝鮮民主主義人民共和国の方は、いつ樹立したか。考えられることとして、韓国よりも先なのか、同じなのか、遅いのか。「同じ」は、ひと月前後ならいい？ まったく同じ日でなくていいね。ひと月ぐらいズレても同じぐらいだとみましようか。

| 【問題】 朝鮮民主主義人民共和国は、いつ樹立したでしょうか。

| 韓国が樹立した 1948年8月15日より

| ア. はやい (~1948年7月15日)

| イ. 同じ (1948年7月15日~9月15日)

| ウ. おそい (1948年9月15日~)

では、いいですか。韓国が樹立したのは、1948年ですが、朝鮮民主主義人民共和国が樹立したのは、それより遅れること……ちょっとで、9月9日に樹立します。ほとんど同じです。

森下 「北朝鮮は、9にこだわる」って、ニュースで言った。だから、29日にミサイルを打ち上げたとか。

● 1948年までの朝鮮半島

でもね、考えてみたら、1945年の8月15日には、終戦になってるんですよ。3年もかかっているじゃん。この3年間どうなったの？

無政府状態だったんでしょうか。朝鮮半島は、どういう状態だったんでしょうね。まず考えられるのは「オレたちだ」「いや、オレたちだ」って、ワーワー、ワーワーもめて、3年かかったのか。戦争にまではならなかったけれども、もめていて3年かかった。3年たって、「もう、いいや」ってなった結果、「オレはこっちで独立」「じゃ、オレも独立」ってなった。というのがア。

女性 それだと、日本が占領していたときも「半島内でもめていた」ってことですか。

いやいや。それは、わからない。戦争が終わるまで、ほとんど「終わる」なんて思っ
てなかったという話をさきほどしました。戦争が終わった途端に「おい、独立やろうぜ」
こっちも「おい、やろうぜ」って、もめだす。そういうイメージで、私は選択肢をつくっ
ています。

いやいや、日本がずっと世話してた。「世話してた」ってしかられるよね。それから
も日本が占領してた。というのがイ。

いやいや、外国が占領していたんだ。が ウです。

かずき 「李氏朝鮮にもどった」っていう選択肢もあっていいと思う。

じつは、その選択肢もきいたことがあるんですが、だれも手をあげてくれないの。

- | 【問題】 1948年8月15日までの朝鮮半島は、どういう状態だったのでしょうか。
- | ア. 大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の二つが、どちらが朝鮮半島の国家になるか、韓国の勢力と朝鮮の勢力がもめた。
- | イ. 日本が統治していた。
- | ウ. 外国が占領した。
- | エ. そのほか

これは、答えとなる、もうちょっと前の状態から言います。

●ソ連とアメリカの軍政

1945年の2月4～11日、当時ソ連のクリミア半島にあるヤルタというところで会談が開かれます。そこで、アメリカとイギリスとソ連の三国の首脳が集まって、「もう、これ勝つよな」「韓国=朝鮮はどうする？」って相談するんですよ。当事者はいません。当事者がいないところで、その三国で相談したときに「アメリカとイギリスとソ連と中国の四つの国で信託統治しましょう」という話になります。そのときの中国は中華民国です。蒋介石が率いる中国です。「そのあとで、時期を見て独立を模索しようや」という相談をしたんです。

ところがアメリカは、日本がこんなにはやく降参するとは思ってなかったの。ソ連と「どうする？」って、8月10日に相談したの。そのときに、「ソ連は、とりあえず占領してよ。朝鮮半島に北緯38°の線があるから、そこから北側をソ連が占領して。南側はアメリカが占領するから、そこで日本の武装解除をして、連合軍の代表としてアメリカが降伏文書に調印させるから、とりあえず38°線より北をソ連が占領して。南はアメリカが占領する」という電話をしたんだそうです。8月15日の5日前ですよ。ここ長崎に原爆を落とした次の日です。

8月10日に、そういう約束をして終戦をむかえました。

ソ連と日本は、中立条約を結んでいて、「ソ連は日本に侵攻しない」という約束をしていたの。「やぶれよ、ソ連」というのをアメリカのルーズベルトが言ったのがヤルタ会談です。その約束にしたがって、ソ連は日ソ中立条約をやぶったんです。

だからソ連は、ひと足さきに朝鮮に入ってきていたの。8月15日にソウルでは、終戦が突然やってきたと言いましたが、北の方では、2～3日前に、じつは、ソ連がやってきて、混乱状態になっていました。そのままの勢いで、ソ連はザーッと、ヤルタ会談の約束どおり朝鮮半島の38°線の北側を占領します。

そのあと、ちょっと遅れたんだけど、約束してたから、9月2日、マッカーサーがア

アメリカ軍に「北緯 38° 以北はソ連が占領，以南はアメリカが占領」って命令を出して，9月9日にアメリカ軍は南に着きました。ここで占領下となります。軍による政治をおこなった。だから，南も北も軍政です。38° より北はソ連，南はアメリカの軍政です。ソ連はさきに入ってたけど。実質的にはもう統治してた。

● アメリカ軍が来るまで

8月15日から，9月9日までは，どうだったのか。すぐ，「じゃあ，オレたちで独立しよう」っていう人が出てこなかったのか。

森下 韓国の人にすれば，外国が来るとは思ってなかった？

それは，情報が錯綜するんですよ。「それまで待てよう」って，じっと待ってたのか。日本が負けたんだから，「オレたち，独立しようぜ！」っていう人が出てきたのか。そういう動きがあったかなかったか。

| 【問題】 1945年9月9日までに朝鮮半島で，独立の動きがあったか。

| ア. あった。

| イ. なかった。

じつは，3・1独立運動のあと，第二次世界大戦のときも朝鮮半島に住んでいて独立運動をしていた人

呂運亨 1947 撮影

がいたの。当然，日本に睨まれてはいるんだけど，違法行為はしない呂運亨（ろうんきょう，1886 - 1947）という，おだやかな独立運動家です。

ポツダム宣言の受諾の方針を日本の朝鮮総督府が玉音放送よりも前に得ます。そのときに呂運亨に来てもらって，「じつは，日本はもう負けるから，安全に日本人を帰したいんだ。そのために，あなたにすべて権威を委譲するから，あなたの力で日本人が安全に帰れるようにしてくれないか」とたのみます。そしたら，呂運亨は「まかしておきな」って言ったんですよ。

それから，呂運亨という人は，スーパーマンのような働きをするんですよ。

まず，すぐに「建国準備委員会」というのをつくります。彼は，「アメリカが9月9日に来る」という情報を日本から得て，「これまでに自分たちが独立しなかったら，また占領されて，また植民地になっちゃうじゃないか。同じじゃないか。日本がアメリカに変わるだけじゃないか」って言って，だから，9月9日までに独立しようとするんですよ。

当時，朝鮮半島に全部で 247 の市や郡があったそうです。そのうち半分以上の 145 か所に「建国準備支部」を設けて，「建国するぞ」って運動をはじめたの。

「アメリカ上陸の前に建国宣言するんだ」って運動して，「やるぞ，やるぞ，やるぞ」

って、アメリカが上陸してくる3日前、9月6日に「朝鮮人民共和国を樹立する」ってやったんですよ。名前が似てるでしょ。「民主主義」があるかないかだけで。呂運亨が樹立宣言したのは朝鮮人民共和国です。

樹立したとは言わない。外国が認めなかったから。憲法もないし、自分が大統領になろうともしないんです。「外国に出てた李承晩にやってもらおー」って。でも、準備委員会をつくって、支部をつくって、「朝鮮人民共和国だ」と宣言したの。

それで、アメリカが3日後にやってきたの。

● アメリカの対応

さて、アメリカは、どうしたと思いますか。

かずき 選択肢は？ ないなら、こちらでつくります。

ここは、お話でつづくんです。選択肢をつくるとしたら、尊重して、「わかった。でも、あわてないで。準備がととのったらね」という態度をとったのか。反対。「いやいや、ダメだ。そんなの認めない。アメリカの言うことをきけ！」とやったのか。無視「あっそ。じゃあ、占領、占領」ってやったのか。

| 【問題】 米国は、呂運亨の朝鮮人民共和国の宣言をどうあつかったでしょう。

| ア. 尊重した。

| イ. 反対した。

| ウ. 無視した。

(もともとない〔問題〕で5～6人ずつに分かれたので、ここだけ討論もつけておきます。)

かずき 独立する意欲のある人たちがいて、3日前に「朝鮮人民共和国だ」って宣言までした人を無視できない。どこまで尊重したからわからないけど、当時は、その民族がやりたいことを尊重するというのが基本だから、アだと思います。

女性 私は、無視した＝ウなんですけど、「日本に占領されてきた国が、どれぐらいやれるんだ？ オレたちは、もうこの後の道はつけている。やってみ」って尊重してるようにみせかけて、無視。

男性 アメリカにも、呂運亨という人は信用されたんじゃないかな。だから、尊重したと思います。

美紀子 私は、イなんですけど、尊重というのが説得力があって、ひるんでしまっ、言えないんだけど、……信用できないよね。あんなのは。

穂澄 ヘタにそれを認めたら、またそれでややこしくなるじゃないですか。だから、「そ

んなのはダメ」って反対した。

呂運亨が準備して、そりゃ、積極的にやったかもしれないけど、そんなに根拠があるわけでもなし、みんなが、それにしたがう感じでもない。という感じなの？

森下　すでに、ソ連が38°線より上は占領してるでしょ。アメリカだけ尊重してたら、全部がソ連に占領されてしまう。

ただね、アメリカとソ連の関係は、当時そんなに悪くなかったんですよ。

美紀子　電話でなんとかなるかも。

穂澄　でも、「38°線より北は占領して」って約束したんだから。

● 臨時政府はすべて認めない

これは、どういうことが起こったかという、北はソ連が占領してるでしょ。北で建国準備委員会を立ちあげた人たちは、名前を変えて「人民委員会」となりました。いかにも社会主義的な名前でしょ。ところが、「それは、イヤだ！」「そんなことでまとめられたら、イヤだよ」という人たちも、また組織をつくっていくんですよ。

そうすると、日本に迫害されて、外国に出て行った人たちがいるでしょ。李承晩だとか、あとからになるけど金九（きんきゅう、1876-1949）だとか、有能な人たちが何人かいるんですよ。その人たちが帰ってきて「オレたちがやるぞ」って。「呂運亨？ おまえは、日本と戦いもせずに日本のあとを受けて、そんなやつの言うことをきけるか」って、やるんですよ。帰ってきた李承晩たちが朝鮮人民共和国と協調することはなかったんです。

そういう混沌とした状態になったんです。だから、アメリカは「朝鮮人民共和国、そんなものは認めません！」ってやったんです。完全につぶしました。

これ以外に、「われも」「われも」と出てきた独立派、「全部、認めません！」ということにしたんです。先生がよくやる手。「どれもダメ。全部、認めない！」

〈臨時政府を自任するすべての団体〉を認めないことを表明します。

じゃあ、どうする？ 占領軍は、あらたな独立に向けて解決しなきゃいけないんで、「とにかく全部ダメ」って言うておいて、「どうする？」って、イギリスとソ連とアメリカの外務大臣がモスクワで、三国外相会議を開くの。そして、案をたてるの。

まず、アメリカとソ連が占領してるんだから、アメリカとソ連が共同委員会をつくって、アメリカとソ連のそれぞれの委員を出して、朝鮮半島のなかで民主主義的諸政党、諸団体を呼んで、その代表とアメリカの代表とソ連の代表が、話し合いをして、「じゃ、これで臨時政府をつくりましょう」と、とりあえず臨時政府をつくる。そして、臨時政府が

できたら、今度は、アメリカとソ連が信託統治をする。

臨時政府はつくるんだけど、信託統治をして、「これなら、つくれるね」「憲法もつくれるね」「議会もできるね」という段階まで、アメリカとソ連とイギリスと中国が5カ年は信託統治をしましょう。そのあと、ちゃんと整備して独立してくださいよ。そういう方針を出したの。

●フィリピンの独立

これは、フィリピンも、アメリカがそうしたんですよ。

ちょっと脱線すると、フィリピンという国は、アメリカの植民地だったんですけども、太平洋戦争では、あそこで一番たくさん人が死んでいます。アメリカの植民地だったということもあって。

フィリピンは、アメリカの植民地だったんだけど、じつは、1946年には独立する約束がもうできていたの。それで、信託統治の関係でアメリカがいたんですよ。

そこへ日本が攻めていったの。で、「植民地解放だ！」ってやったんですよ。なんかヘンな関係でしょ。ところが、アメリカに反対するゲリラもいたわけ。彼らと手を組んで、アメリカが信託統治して独立させようとしているのを、日本がブチこわしたいんですよ。

そこでの戦争は、すさまじいもんになって、日本に味方するフィリピンの人たち、アメリカに味方するフィリピンの人たち、もう入り乱れるでしょ。そういう形でグチャグチャになったから、フィリピンでたくさん死んだんですよ。

アメリカは、日本に勝ったあと、信託統治にもどして、1946年には独立できるという見通しが立って、フィリピンを独立さすんですよ。

それと同じように韓国もやろうとしたわけです。

●米ソの提案

「信託統治を5カ年したあと独立ですよ」って、わりと実情に合ったというか、「そうだよな。まだ自主的に治めたことはないんだから、準備するのに5年ぐらいかかるかもしれない」という気がしないでもありません。

そういう方針を出されたら、韓国国内は、どうなったか。

女性 38° より北の朝鮮にも、そう言ったんですか？

そうです。「5年後には独立させます。そのためには代表が集まって、臨時政府をつくって、その準備期間として、5カ年は信託統治をします。暴動が起きたり、ほかから攻められたりしないように」って、北にも南にも説明する。

女性 その時点で、北と南は別べつに独立することが決まっていたんですか？

そんなことはありません。いはま、38°線で別べつに占領しているだけであって、国を成り立たせているわけではないね。アメリカとソ連が相談して、5年後に独立させようとしたんです。この時点では、朝鮮半島を一つの国として独立させることをえがいていたと思います。

北村 そのときは、リーダーの目星をつけたりしないんですか。

リーダーを呼ぶかどうか。それがつぎの〔問題〕です。信託統治のあいだに選挙もしなきゃいけないんですよ。まだ、やったことがないんだから。国会を成り立たせることもしなきゃいけないでしょ。憲法もつくらなきゃいけない。そういうことをするために、一応、政府をつくっておいて、みんなの話し合いのもとに信託統治をして、外敵から守りながらやっぺいこうと考えたわけです。米ソで。

だから、そんなにムチャな話じゃないでしょ。これは、ムチャな話じゃないんですよ。それで、どうなったか。

森下 これ、1948年には二カ国が樹立宣言するんですよ。それを知ってるだけに1945年の残りから、そこまでどうなったかってことですね。

穂澄 選択肢。

ここは、どういう選択肢がある？〔問題〕はつくってないんですよ。いまのプランのままいきますね。

●動きはじめていた北

モスクワ協定の「信託統治案」が公表されると、「信託統治、賛成！」っていう人たちがいます。まず

金日成 1947 撮影

「いいじゃない、それで」と言ったのは、金日成（きんにっせい、1912-1994）なんですよ。なんでわかるでしょ？ 信託統治で、ソ連に統治してもらって、自分たちがその指導のもとに国家を統一できれば、めでたしめでたし、だから。

それで、北部は、ソ連の指導で社会主義者が主導権をすでに握っていたの。彼らは「土地改革令」というのをすでに出して、地主から土地を取りあげて、農民に分配したりしてるの。

穂澄 金日成たちが？

浜野 ソ連の指導のもとに？

そうそう。ソ連が軍政を敷いているからね。「いいよ、やって」と言ったのか、もっと積極的に「やれ！」って言ったのかもしれないけど、とにかく北は、もう土地分配を始めていた。

それで、その土地を取りあげられた人のなかにキリスト教徒がけっこういたの。キリスト教関係の人がコツコツ働いて、自分たちで土地をひろげていたの。

森下 儒教文化なのにキリスト教徒がいたの？

いるんですよ。日本から入っていった宣教師が韓国のキリスト教徒を増やします。

かずき 李朝のときから？

李朝のときは、いません。儒教が国教のときは、キリスト教徒への弾圧は日本どころではありません。惨殺されます。ゆるせないんですよ。「神のもとに平等」ではない。「秩序が大事」それは、もう徹底していたんですよ。だから、キリスト教徒は日本の植民地になってからです。日本へ留学してきた人たちが、韓国に帰って、いろんなことをひろめたりもしたの。

キリスト教徒は、コツコツ増やしていた土地をとられちゃう。そんな共産主義者は敵でしょ。だから、彼らは土地を捨てて南へ逃げちゃう。で、アメリカをたよるんです。アメリカのことを「十字軍」と呼んだんです。その人たちは、共産主義がにくいんですよ。だから、その人たちがアメリカ軍の側について、その後、いろんなことをするんですよ。

●ゴチャゴチャの南

南側にも5年間の信託統治に賛成する人がいます。「反対！」という人たちもいます。「反託派」と

1948.12 連合国による

信託統治構想に抗議する

南朝鮮のデモ

呼ばれる人たちね。反対の人たちは、「信託統治で5年？ それ、植民地支配じゃないの。新しい形の植民地支配でしょ」「私たちは、そんなことは望んでいない！」儒教が国教が500年でしょ。プライドが高いんですよ。いまでも、そのけがありますね。それは立派なことでもあるんですよ。彼らから見たら日本人は腑抜けに見えるんですよ。「信託統治は二度目の植民地化だ」と反対する多くの人びとがいた。社会主義に反対する人たちもいた。そういう人たちだけではありません。「民族主義」もいた。「われわれは儒教文化を大事にして、小中華主義のもとでかたまっ」ってという人もいたの。

それから、親日家もいたの。「日本のやりかたがよかったよね」っていう人たち。バ

ラバラですね。

どうなったか。そのとき、李承晩という人が、政治的にうまくまとめようと努力するの。ひとつの勢力になっていくんです。やっぱり、大物政治家なんですよ。

一方で、自分たちが何かをやろうとすると、アメリカがジャマをする。「アメリカは命令するばかりだ。アメリカ反対。出ていけ！」っていう人たちも出てくるの。そういうゴチャゴチャした状態だったの。

南は、グチャグチャだったの。北は、統制がとれていたの。

これは、日本の責任でしょうか？

かずき そんなわけないよ。なんで～？

そうですね。そこは置いていて、つぎ行きます。

米ソの共同委員会をひらいて、代表を呼んで、とにかく臨時政府を成立させりゃあ、いいわけですよ。それで、米ソがまず相談するんですよ。「どの団体を呼ぶ？」ってそこで、もめます。ソ連は「信託統治を反対してる団体は、呼んだらいいけません。信託統治しないって言うてる人たちを呼んだら、混乱するだけです」って。アメリカは「そんなことない。多様な、みんなの意見をまとめてこそ民主主義だ。全部、入れましょう」と言う。

ここの米ソの対立が水と油になっちゃって、「民主的な組織を呼ぶ」のはいいんだけど、「だれを民主的とするのか」ということが問題になって、米ソの話し合いがつかなくなるの。それで、決裂しちゃうの。

●国連をたよる

そうは言っても、なんとかしなくちゃいけないでしょ。だから、努力して2回めの会談をもつんですよ。そしたら、同じことをくり返すだけで、妥結できなかった。もう打つ手がなくなっちゃって、アメリカは投げたんです。「もう、どうにもなんないよ」って、国連へ持っていったの。ソ連は「国連に行くんじゃないよ。まだ話し合いはついていないんだから」って反対するの。でも、「もうまとまらないよ。オレたちだけじゃダメだよ。第三者に入ってもらおう」ということで、国連にまかせるようにします。

1947年9月、アメリカが国連に「どうにかしてもらえませんか？」と言った。国連は、どうしたでしょう？「そんなことは、国連に持ってこられてもこまります」だったか。「引き受けましょう」だったか。

| 【問題】 国連は、どうしたでしょう？

| ア. 引き受けた。

| イ. 引き受けなかった。

国連は、通告を受け取りました。まだ「安全保障委員会」の段階じゃなかったから、ソ連の拒否権が発動されるわけじゃない。「もめてるんだって。どうする？ みんな」「じゃあ、相談しよう」って話になったの。

それで、1947年の11月に国連総会を開きます。そして、国連に「臨時朝鮮委員会を

つくろう」という話になります。〈臨時朝鮮委員会〉をつくって、そこが中心となって、1948年の3月31日までに政府樹立のための代議委員を選ぶ選挙を行うことにしました。「もう、信託統治とか言っていないで、選挙しちゃいましょう」「国連が監視したらいいじゃない」ということを決めた。「ここで国連が入ります。ソ連もアメリカも介入しないで。ここで選挙です」って。

国連が主導で、臨時朝鮮委員会を設けて、主導権をもって、1948年3月31日までに政府を樹立させる。そのための選挙をする。そういうふうに決めました。

かずき ソ連は反対しなかったの？

これは、戦争になってるわけじゃないでしょ。だから安全保障の問題じゃないの。軍隊を出すかどうかの問題じゃないから、ソ連の拒否権も関係ないわけです。多数決で決まるんですよ。

選挙でえらばれたら、えらばれた代議委員と臨時朝鮮委員会とで協議して、政府を樹立して、その後90日以内に、アメリカもソ連も撤退する。そう決めたの。

それで、臨時朝鮮委員会は、1948年の1月にソウルに行くんです。決めたとおりに韓国に国連の臨時朝鮮委員会が入ったんです。ソウルに行って「選挙するぞ」って言うと、「はい」って。そして、38°線をこえて北に入ろうとしたら、金日成が「出ていけ！」って言ったんです。南はOKだったんだけど、北は「選挙しよう」というのをきいてくれなかったの。

で、「どうする？」って国連に帰るんですよ。

●南だけで選挙

国連でまた協議する。その結果、このままではラチがあかないから、「臨時朝鮮委員会の立ち入りが可能なかぎりの地域で、とにかく選挙しよう」と決めた。

穂澄 南だけで？

そう。「可能なかぎりの地域」というのは、実質、南だけになります。「可能なかぎりの地域で選挙しよう」って国連は決定したの。南だけの選挙をして、「国連の監視をする」ということが決定事項となりました。

そして、1948年5月に選挙を実施したんです。200人の定員で、選挙登録者は、有権者の79.7%、投票率90.8%だった。すごいね。

かずき 有権者はだれ？ 女性も？ 貧富の差なしの？

はい。20歳以上の男性も女性も。普通選挙です。

それで、済州島だけは選ばれなかった。済州島をのぞく198名が当選を決めたんです。臨時朝鮮委員会は「選挙は成功した」と発表したの。そして、議員が選ばれたから、憲法

を制定するための国会を開設したんです。その国会で「南朝鮮国会法」制定。臨時朝鮮委員会は国会の成立を認定。

その後7月、国号を「大韓民国」と決定。「大韓民国憲法」を制定。大統領制と朝鮮半島全土を領土とすることを憲法第3条に書いてあるの。

憲法の規定に沿って、国会のなかで行政の中心者を選ばなければならない。国会議員のなかで、李承晩という人を初代の大統領にすることを決めた。これは、国民の直接選挙じゃないわけです。李承晩は大統領だけれども、国会のなかで決めました。

それで、1948年の8月15日に大韓民国の政府樹立式がおこなわれた。最初の問題に出しました。1948年8月15日、大韓民国の樹立です。

これが、現在も韓国が「わが国が朝鮮半島における唯一の正当な国家である」という論拠になっています。

いまのいきさつで言えば、「そう言えるかもしれないわな」というのがあってでしょ。

● 済州島で起こったこと

ところが、さっき「済州島だけ選挙できなかつた」って言ったでしょ。済州島では、とんでもないことが起こったんです。

済州島=チェジュというのは、朝鮮半島の南にある韓国で一番大きな島です。唯一の火山があるところ。火山は、済州島と北の端にしかないの。「韓国のハワイ」と呼ばれる島です。ミカンの産地。まあ、そういうところ。

ここで、どういうことが起こったか？

南だけの単独選挙に反対した島民が、4月3日に武装蜂起したの。島内の警察や選挙をおこなおうとしていた要人などを襲ったんです。テロです。

この反乱に対して米軍が出ていくわけですよ。鎮圧に。米軍を派遣して鎮静化をはかるの。

じつは、北も「自分たちが正当な国になるんだ」って、北も選挙したんですよ。

かずき いつ？

穂澄 南のあと？

日にちは、よくわかんないんだけど、そのころにしたの。北だって、正当性を主張するためには、南でも選挙したいの。南は「可能なかぎりの地域」だけの選挙でしょ。北は、南でも選挙して、「自分たちは、全土で選挙した正統な政府だ」って言いたい。でも、南の方でやろうたって、国連がやってるでしょ。表だってやってたら、つぶされますね。だから、地下選挙するんですよ。内緒で。

で、済州島でも地下選挙をやったの。北は、人民大会を開いて独立宣言をするんだけど、その人民大会を開いたときに、「私たちが済州島の代表です」って出てきたの。「私たちは、南の不正な選挙を阻止し、正当な選挙によって代表になりました」って言っ

たら、満場の拍手，ワーって。そんなことがあった。

濟州島には、北の武装蜂起した勢力がいるわけです。それを掃討しに米軍が入った。そして、焦土作戦で「ひとり残らず、北の手先をやっつけるんだ！」ってやりはじめた。そしたら、軍のなかに、韓国の人たちもいるんだけど、「オレたちの同胞を殺すな」という人が出てくるの。「同じ民族なんだ」って。軍隊のなかの反乱が起きます。

そうなったら、米軍は反乱軍をやっつけるの。そこで、2万人～3万人が亡くなったそうです。

おまけに、濟州島のなかで、北の人たちがたくさん入ってるでしょ。北の人たちは、肅正をかけるんですよ。「おまえ、選挙に行ったか？」「あっちに賛成したら、ゆるさないぞ」ってやるわけ。北に肅正されて、米軍は米軍で入ってきて、「おまえたち、北に協力してないだろうな」って、普通の島民は、もうどうしようもない。

だから、濟州島から脱出する島民があとをたたなかった。どこへ行ったんですか？

森下 北と南の争いだから、争いがなく近くの日本。

そうです。日本に来たんです。その人たちが、いま大阪の鶴橋に住んでいるの。焼き肉屋さんとかがそうです。10万人が日本に行った。

もちろん、韓国に逃げた人もいますよ。でも、日本に来た人がかなりいたわけ。もともと植民地時代から濟州島と大阪の間に航路があったんですよ。そういうこともあるから、どんどんやってきて、それが大阪で在日韓国人が多い理由なんですよ。

女性 強制連行じゃないの。

北村 戦争前から、南のエリートたちは朝鮮をさけて日本に入ってきたんじゃないの。

それもある。

「強制連行」って、なんですか？ 強制連行というのは定義がないんですよ。私もそうだったんだけど、みんな、イメージをもってると思うんです。野良仕事をしていたら、トラックで日本軍がやってきて、捕まえて、トラックに乗せて、日本まで連れて行って、タコ部屋みたいなところに入れられて、「石炭をほれ！」ピシピシッてやられて、死んだ人もたくさんいます。そんなことをどこかで聞いたでしょ。

そういうことはありませんでした。あれは、ウソです。

●「強制連行」の実態

韓国から日本へ労働者がたくさん呼ばれたのは事実です。これは「徴用」です。戦争がはげしくなると、日本は国内の方で働き手がないんですよ。韓国では、ずーっと徴兵がなかったの。1944年9月まで、韓国人向けの徴兵令はなかった。だから、韓国に労働力はあるの。この労働力を日本の方に連れてきて、なんとか働かせようとするわけ。その

ときに「働きにきて」って〈徴用令〉というのを出すの。

役所から徴用令が来たら、働きにでなきゃいけないんだけど、その人たちには給料が払われるんですよ。

女性 劣悪？

そんなことはありません。金額も日本人と同じです。徴用ですから。

女性 ことわれない？

ことわれません。そういう意味では「強制」なんです。

日本人も一緒なんですよ。学制が徴用を受けたりするんですよ。ことわれません。条件は同じなの。「韓国の人を差別して、そうした」っていうのは、ウソです。労働力がたりなかったから、労働力のあった韓国の人たちを連れてきた。ことわれないということは、いけなかったけど、それは日本人も同じだったの。連れてきた人たちには、ちゃんと給料を払ったんですよ。給料を払うし、年金まで制度のなかに入れたりしてるんです。だから、戦後「年金を払った分、返せ」って裁判を起こったりして、返してるんですよ。ちょっとイメージちがうでしょ。

それは、さきに正義があって、「日本の植民地支配が悪いものだ」というのが前提にあるから、「連行って、うむを言わず連れて行って、……」というストーリーができるの。

たしかに炭坑等で、ひどい働きかたを強制された事実はあるの。でも日本人と一緒になの。日本人も、そういう目にあってるの。ことばが伝わらなかったら、余計に理不尽に感じることもあったと思います。でも、すべてがそうではなかったんです。

手記がいくつか残っているの、私も読んだんです。私がくわしく読んだのは、広島東洋工業に「強制連行」された人の文章です。

その人は「徴用にもとづいて命令が来た」と。「これで、もう家族と二度と会えないかもしれない。涙ながらに別れました」って書いてある。「汽車に乗って釜山まで行った。釜山から船に乗って下関で降りた。そこから、どこをどう通ったかわからないけれど、宇品というところへ連れていかれました。途中の弁当がとておいしかったです」って書いてある。

着いてからは、職業訓練をするわけですよ。すぐ「機械をつくれ」って言ったって、つくれるわけないでしょ。労働者に訓練しなきゃいけない。ところが、教える人がいない。戦争に行っちゃって。だから、「何日も、ほっとかれました」って書いてある。その間も、もちろん食事は出ます。「おいしかった」って書いてある。

だから、そんなに残忍なことをしたわけじゃないんですよ。だって、連れてきて、ちゃんと働いてくれないと役に立たないじゃん。「働け！」って言ってなんとかなるんなら、ことは簡単だけれども、労働者として役に立つようにしようと思ったら、どの仕事だって、

その仕事ができるまでは習熟しなきゃいけない。バカにしちゃいけない。訓練していかなくちゃいけないんですよ。

その訓練をしに「奈良の方まで行きました」とかある。「そのときに教えてくれる人が、すごく暴力をふるってイヤだった」というのは書いてあります。

でも、それは当時、日本人もよくやられてたの。言うことをきかないやつはビンタというのは、学校でも普通でした。そういう状況は、あまり変わらないんです。

徴用されていた人たちは、戦後すぐ一番で帰したんです。だから、「強制連行によって、日本に連れてこられた人が日本に居させられた」というのは、ウソです。これは、はっきりウソなんですよ。いま、韓国の歴史学会も「そんなことは、なかった」と認めています。

日本に残った人は、すすんで自分から残ったんです。ほとんどがすすんで残った。そうでない人は、あとで起こった戦争で、もう帰れなくなっちゃうんです。日本が帰さないとか、暴力的にどうこうしたということは、ないんですよ。

「強制連行」ということばが、ひとり歩きして、みんな勝手なイメージをつくって、学校の先生もよくわからないのに、さっき言ったような「野良仕事をしているとき、……」というようなイメージをうえつけられたの。

まるで「江戸時代に〈被差別部落〉は、幕府がつくった」というのと構造が同じなんですよ。そうじゃない。

実態として、「何を根拠に連れてこられたのか」というのを調べていって、人数や「どれだけ賃金が払われていたのか」というのは、全部、書類が残っているので、そこから考えたら、これまでイメージだれていたような「強制連行」はなかったということです。

●ここまでのおさらい

ちょっと脱線しましたが、「済州島から大阪に来た人がたくさんいた」という話までしていました。

そういうことを経て、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国が1948年に独立しちゃったということなんですよ。韓国は選挙をして、国連のもとに独立。北も地下選挙をして、済州島の代表まで選んで、人民大会を開いて、やや遅れて独立宣言した。

実態は、38°線より南と北で治めている政府が別べつだったんだけど、韓国の憲法には、いまでも「半島全部」って書いてあるし、北もそうなんだから、二つの政府が同じところを「自国だ」って言ってるんだから、もめるに決まってるよね。

こうやって独立したんですよ。ややこしい話だけれども、この独立の経緯を聞くだけで、となりの国の状況というのが、ぜんぜんイメージ変わってこないですか。

ずいぶん、くわしくなったでしょ。

もう一回、順を追っていくとね、まず終戦になった。「自分たちで独立する」という人たちが出てきた。「アメリカ軍が来るまでに独立するんだよ」って朝鮮人民共和国とい

うのを立ちあげた。あらかじめ、カイロ会議のときに約束していたように、アメリカとソ連が入ってきて、ポツダム宣言の直前に約束したように、38°線の北をソ連、南をアメリカが占領する。それぞれが占領するだけ。ここは、仲が悪くないんですよ。南はアメリカが占領する前に、朝鮮人民共和国が樹立宣言していたけれども、どんどん帰ってきて、「われこそは」「われこそは」って、ワーワー、ワーワー言ってくるから、「全部ダメ〜」って認めなかった。

そのあと「どうする？」って相談して、モスクワ会議というのを開いて、とにかく「アメリカとソ連と、民主的な組織の代表を集めて、話し合いによって臨時政府をたてましょう」という約束をする。「その後に信託統治をして、5年後には独立ですよ」ということをやろうとしたんだけど、まず、ソ連とアメリカの話し合いがうまくいかずに、代表を集めることもできなくて、もめちゃった。国内で「信託統治には反対！」という意見と「やってくれ」という北と、グチャグチャになっちゃって、どうしようもなくなって、アメリカが国際連合に持っていったら、国際連合が「わかりました」ということで、臨時朝鮮委員会というのをつくった。

その臨時朝鮮委員会は「信託統治はどうでもいい」「選挙しよう」と。とにかく「選挙をして、政府を成り立たせよう。90日以内にアメリカもソ連も出ていけ」ということを宣言した。

そして、選挙をしにかかったら、「北へ入るな！」って、金日成が拒否して入れてくれなかった。国連で「どうする？」ってもめたときに、「南だけでも選挙して、とりあえず政府をたてようや」って、選挙してできたのが大韓民国なんです。という話なんです。

もう一方で、北は北で、着ちやくと社会主義化をすすめていて、「自分たちが正当だ」と、南の方でも地下選挙をしたりして、それで、大めにもめたのが済州島だった。だから、済州島では、すごい殺し合いがあって、島民が2万人から死んでいる。逃げた人たちがいっぱい大阪にやってきた。

で、ふたつの国ができちゃったんですよ。

● 朝鮮戦争を仕掛けたのは

こういう状態で、1950年6月25日にとんでもないことが起こります。前に出てきました。なんですか？ そうです。朝鮮戦争が勃発するんですよ。ここで問題です。それぞれの国が樹立を宣言して、2年もたたないうちに戦争が始まります。どっちがしかけた戦争でしょうか？ あるいは、どちらかがしかけたんじゃなくて、グチャグチャ、グチャグチャしてる間にワッと大きくなって、戦争になったのでしょうか。一方的にどちらかがしかけて戦争になったとしたら、どちらがしかけたか。韓国がしかけたのか。朝鮮民主主義人民共和国がしかけたのか。どちらともなくグチャグチャになって、戦争になったのか。

森下 北のトップは金日成。南のトップは李承晩ですね。

そうです。そのどちらかが仕掛けたか、どうか。いいですか。

- | 【問題】 朝鮮戦争は、どのようにして起こったか。
- | ア. 韓国がさきに攻撃した。
- | イ. 朝鮮民主主義人民共和国がさきに攻撃した。
- | ウ. どちらともなく、小競り合いをつづけるなかで戦争になった。

こんなことがわかるのか。ここ 20 年前までは、さっぱりわからなかったの。でも、最近はもうわかっているんですよ。

戦争が始まると、捕虜になるやつがいるわけ。捕虜になるやつが持っていた命令書があって、それを見ると、1950 年 6 月 25 日に衝突したんだけど、それよりも 2 ヶ月前に「おまえたち、ここへ行って、これだけ準備しとけ」「25 日の午前 4 時をもって、38° 線全線にわたって一斉攻撃をかける」とかいう文書が出てきたの。それは、朝鮮民主主義人民共和国の兵が持っていました。

〈偏見をもつ可能性が高いから〉というのもあって、日本の良識的な学者たちも、口をつむいでしまっているんですが、これは事実なんですよ。事実だから、しょうがない。善悪論じゃなくて、事実としてキチンと見るには、これも避けられない。

それは、理由があります。金日成は、北の政権を立ちあげるときに「民主基地論」というのを出します。「自分たちの朝鮮民主主義人民共和国は、仮の姿である。自分たちは、仮にここにあるけれども、半島を全部、民主的にするためには、いずれ軍事的に南を征圧して、全部を北の支配におく」と。それを民主基地論というんですよ。こういうことを公然と言っていた。それを実行しただけなんですよ。

● 中国の内戦後

さて、この戦争、いっせいに 1950 年の 6 月に始まりました。金日成の民主基地論は、ずっと言ってるから、もっとはやく始まってよかったんだけど、なんで、この日になったんでしょうか？

これも、理由があります。金日成の後ろ盾となっているのがソ連です。ソ連のその当時の指導者は？

穂澄 スターリン。

それから、もうひとつ味方がいます。中国です。中国の指導者は？

浜野 毛沢東。

そうです。スターリンと（1878-1953）毛沢東（1893-1976）に相談して、OK をもらったから始めたの。

金日成が「民主基地論」を言いだしたときは、中国はまだ内戦状態だったの。蒋介石

と毛沢東がもめていて、どっちが中国を統一するかで戦争状態だったんですよ。

朝鮮半島は、朝鮮戦争まで戦闘はしないですよ。ガチャガチャ言ったり、濟州島では戦闘があったりしたけど。濟州島はメチャクチャだったけど、朝鮮半島で、この二つが戦争していたわけじゃないわけですよ。

中国で戦闘していたのが、1949年の10月に、中国の内戦は、決着がついたんです。すると、金日成はスターリンのところに行って、「開戦させてくれ」って言った。のちの指導者となるフルシチョフ（1894-1971）がそれをバラしたんですよ。

南は、ゴチャゴチャしてて、やっとできた政権で、このときはアメリカの援助も何も受けてないの。軍事力がないんですよ。信託統治しようとしてたけど、もうやめて選挙で選ぶという方針でやったから、もう大韓民国の政府はできちゃった。

アメリカが危惧していたのは、李承晩という初代大統領は、ガチガチの反共主義者なんです。共産党が大きらい。日本も大きらいなんです。だって、3・1独立運動のときに出た人だから。アメリカに行ったから、キリスト教徒なんですよ。

日本大きらい、共産主義も大きらい。そういう人は、アメリカから見たら、「あいつは、危ないよなー」とい

↓

うのがあんの。「ちょっと軍事力を持ったら、逆に北朝鮮を攻めるかもしれないから、あいつには援助しないでおこう」ということにしたら、それを見こして、金日成の方が「はやく攻めたい」とスターリンに相談した。そうすると、「中国のケリがついたらな」と言われていた。で、ついた。

スターリンのところに行って、「中国はケリがついたから、いい？」って金日成がきく。スターリンは「毛沢東がいいと言ったら、いいよ」と答える。それで、毛沢東のところに行くんですよ。「戦争やりますけど、いいですか？」「いいよ」それで決断するんですよ。

〈社会主義の国をつくる〉というのは、当時は、一国だけの話じゃなかったの。だから、中国が社会主義化することの延長上に朝鮮も考えられていて、中国が社会主義化したら、つぎは朝鮮で、そのつぎは日本だ。というふうに世界全部を社会主義化しようとしたの。ソ連のソビエトって「会議」っていう意味で、べつに地名じゃない。世界の全部を対象にしていたんですよ。そういう運動のもとに金日成もやっていた。その一番の大もとは、スターリンなんですよ。だから、この人に許可をもとめた。

北は、進行するときにむけて、「戦車をかして」ってソ連製の武器をつかったりとか、ソ連が訓練したりとかします。それで、中国が「OKよ」って言ったから、金日成が「行けー！」となるわけですよ。それで始まったんです。

それが朝鮮戦争です。だから、朝鮮戦争は、なんとなく始まったんじゃない。金日成の朝鮮民主主義人民共和国の意図が強くはたらいっています。民主基地論というのがあって、その予定どおりなんですよ。

● 北が圧倒する

1950年6月25日、朝鮮戦争が始まりました。さあ、どうなったでしょう？ そりゃ北がうんと強いですよ。準備してあったから。韓国は、わーっとやられます。李承晩は、釜山にまで逃げます。38°線まで治めていたのに、南の端まで追いやられます。このヘンだけが韓国領土。あと、9割が北朝鮮。もう、絶体絶命。短期間で、そうだったんです。さて、どうしたか。

すぐにアメリカは、国連の安全保障委員会を開いてもらいます。軍事衝突ですから、安全保障委員会を開くんですよ。「国連の指示のもとにできた韓国を侵略軍が攻撃してきた」「だから、軍を派遣して、侵略軍をもとの38°線まで追い返してくれ」と提案します。

安全保障委員会が開かれます。そのときの国連に加盟している中国は、台湾に行った蒋介石の中華民国です。どうなったでしょう？

｜【問題】このとき、国連軍は派遣されたでしょうか。

｜ア. 派遣された。

｜イ. 派遣されなかった。

森下 ソ連に拒否権がある。

そうですね。安全保障委員会だから、ソ連に拒否権があると思いますよね。

当然、ソ連は「反対！」したはずなんですが、なんということか、ソ連は、中国のことで、もめてたんですよ。朝鮮戦争が始まったのは、1950年ですね。それより前に中華人民共和国が中華民国にとってかわった。毛沢東と蒋介石が争っていたのは、1949年の10月までにケリがついて、12月には蒋介石が台湾に逃げていったから、中国本土は中華人民共和国になっていたんです。

だけど、当時、社会主義の国は、ほとんどなかったの。だから、ソ連がどんなに言っても、国連総会で中華人民共和国のことは同意されなかった。そのことに抗議して、ソ連は国に引きあげてたの。留守だったの。

そのときに、安全保障委員会をやったから、反対がなかったの。だから、スーッととおって、すぐに国連軍が派遣となります。これ、時間がなかったから、偶然の要素が大きい。たまたま、そのときにソ連が引きあげていて、そのときに総会が開かれた感じ。ソ連だって、それがわかってたら残ってたかもしれない。

それによって、国連軍は派遣されたの。9割がた取られていた領土がビョーンといっぺんに回復するんですよ。

● 38° 線より北に

38° 線まで回復しました。ここでもめるんですよ。だって、ここがもとの線でしょ。これからさきに行ったら侵略になるじゃん。国連軍は、ここからさき北へ行くべきかどうか、もめます。じゃあ、問題。

| 【問題】 国連軍は38° 線より北に攻めていったでしょうか。

| ア. 攻めた。

| イ. 攻めなかった。38° 線まで。

じつは、攻めたんです。韓国の大統領の李承晩が主張したんですよ。「38° 線で止めるって言うけれども、そんなことをしてごらん。最初、むこうから攻めてきたんだよ。あなたがたがいなくなったら、また攻めてくるに決まってるじゃない。そりゃ、ダメですよ」って言ったたら、アメリカが「うむ。そうかもしれない」って言った。

「じゃあ、どうする」「これは、北がもうしませんというまでやっちゃえ」ということで、38° 線をこえて攻めていきました。行きがかり上そうなっちゃったの。

国連軍が攻めていったら、今度は、グーッと攻めて、中国との国境のヘンがチョロッと残るだけで、9割がた国連軍が支配した。

このときに思いもしないことが起きました。アメリカも韓国も予定していないことが起こったんですよ。さあ、何が起こったのでしょうか。

選択肢をもうけましょうか。

| 【問題】 国連軍がほぼ9割がたを治めたとき、何が起こったか。

| ア. アメリカ国内で反戦運動が起こった。

| イ. 韓国で「同胞をそこまでやるな」という国民運動が起こった。

| ウ. 外国が参戦してきた。

● 中国軍の参戦

外国が参戦してきます。どこでしょうか？

森下・かずき ソ連？

これは、中国軍が突然参加してきました。ソ連は参戦しません。ソ連が参戦したら、アメリカとソ連が戦うことになるじゃないですか。直接には、やばいんですよ。

これには理由があります。金日成は、日本が植民地化したときに、朝鮮から出て中国にもぐってて、中国軍の一員として日本軍と戦っていたの。そういう関係があったから、「たすけて」って中国に行ったら、中国から義勇軍が出てきたの。毛沢東の方です。

中国の義勇軍のなかには、毛沢東の息子もいたの。なんと、毛沢東の息子は、ここで死んじゃったの。朝鮮戦争で亡くなります。金日成の息子は、死ななかつたの。どうしてたか？ 中国に逃げていた。だから、金日成の息子、金正日さんは、一生、中国に頭があ

がらなかったの。そういうことがあったし、おまけに儒教の国でしょ。義を大切にしないやいけない。

そういうことから、金正日さんのときの朝鮮と中国の関係がわかるでしょ。ところが、その息子は関係ないでしょ。息子の代になって「中国の言うこともきかなくなった」とか言われるんだけど、それはお父さんが中国にあまりにも頭があがらないという関係だったから、息子になったら、その関係はないというだけの話であって、いまの息子が突然中国にたてついてるわけじゃない。お父さんの方がへりくだりすぎていた。

● 休戦をもちかけたのは

毛沢東の中国が出てきました。イッキに回復するんですよ。ザーッと38°線まで。アメリカ軍が兵をさげていたときに、突然、100万人とかの大人数でバーッと来たの。それで38°線まで回復した。

そうすると、もう一進一退です。ソウルの街が「北がとった」「南がとった」「北がとった」「南がとった」って、3年間の戦争で7回かわったって。ソウルは、ずっと韓国の首都だったんだけど、もうソウルは焼け野原。よく「東京大空襲で、東京が焼け野原になった」って聞くけど、あれと同じか、ビルがあまりなかったから、あれよりも悲惨。もう、なんにもなくなっちゃう。7回も取ったり取られたりする、すさまじい戦争になるの。

このときの連合国軍総司令官は、マッカーサー（1880-1964）です。マッカーサーは、ビックリしたんですよ。「なんで中国が来るの？」って。「韓国と北朝鮮軍と戦ってると思ったら、気がついたら、アメリカと中国が戦っているぞ。こりゃ、おかしい」って。それで、どうしたかという、マッカーサーは「台湾軍を援軍によこせ」って言うんですよ。毛沢東の中国が攻めてきてるからね。それと、「すぐに原爆を北京に落とそう」って言うんですよ。戦線拡大です。「中国がやってきたんだから、中国をたたかなきゃイカン！」「原爆使用だ！」って言ったんですよ。それは声明として出したんです。

そしたら、大統領があわてたの。トルーマンさん（1884-1972）があわてて、「ダメだ。おまえ、そんなことを言うな」と。すぐにマッカーサーをクビにしたんですよ。すごいことが、どどっと起きたんです。

そんななか、「これじゃ、ダメだよ」「なんとか休戦しよう」という動きが起こってくるの。「休戦しよう」って言い出したのは、だれでしょうか。

| 【問題】 休戦を呼びかけたのは、どこの国だったでしょうか。

| ア. アメリカが「もうやめよう」と言い出した。

| イ. ソ連が「もうやめなさいよ」と言った。

| ウ. 中国が「もうやめようや」と言った。

| エ. 韓国が「同胞をこれ以上 傷つけない。やめよう」と言った。

| オ. 北朝鮮が「やめよう」と言った。

どこかにたのまれたにせよ、自分からにしろ、とにかく「休戦しよう」と言い出したのは、どこの国か？

これは、ソ連が言い出したの。でも、もとはアメリカが仕組んだことです。やっぱりアメリカって民主主義の国なんですよ。戦争してるから、やってる人たちは「やめよう」って言えないから、戦争に反対していた前の国務大臣にたのみます。前の国務

マリク 1952 撮影

大臣は、朝鮮戦争に反対してたの。それによって支持をうしなったんだけどね。前の国務大臣は、ソ連の大使と顔がきくから、大統領は、その人にたのんだ。

日本のいまで言ったら、安部首相が蓮舫さんにたのむようなもんです。

「あんた、ソ連と親しいでしょ」「ちょっと声をかけて、ここらへんでというのをはたらきかけてくれない？」ということをしたらしいの。それで、ソ連の外交官マリク（1906-1980）という人が国連の代表にいたんだけど、それが、スターリンにはたらきかけて、スターリンが「これは、あまりにもひどい。やめよう」っていう声をかけていて、「休戦しようや」っていう声が高まっていったんです。

●休戦にあたって

11月にアメリカの大統領選挙があったの。そのときに「当選したら、戦争を終わらせる」と公約したのがアイゼンハワー。公約してたんだから、「もう、やめよう」ってことになります。

それから、1953年3月5日、決定的なことが起こるんです。スターリンが死んじゃったんです。スターリンの死亡が契機となって、3月26日には、朝鮮側から「会談をやろう」ということになります。いわば、「民主基地論」というのは、国際社会主義運動の一環でしょ。親玉が死んだら、どうしたらいいかわかんないから、「ちょっとタイム！」

それで、4月26日に休戦会談がもたれるんだけど、大もめにもめる。なにがもめるでしょう？ もめた事象は、二つありました。

まず、もう休戦するんだけど、「休戦ラインをどこにする？」という問題。休戦ラインの案は、ふたつあった。ひとつは、38°線です。もうひとつは、現実的にいま対峙している線です。「ここで手をうとう」って。38°線とその時点の対峙している線は、ずいぶんちがったんですよ。

かずき 38°線って、まっすぐなんだ。

いまの軍事境界線は、38°線ではありません。「休戦ライン」です。

ときどき、38°線が、軍事境界線だと思っている人がいるから、きょうの昼間は地理の部をやったんだけど、「韓国の国境はどこか」っていう問題で、軍事境界線とは別に38°線も選択肢にしてるんですよ。

休戦協定を結ぶときに「38°線にしろ！」という北と、「現在の勢力が拮抗している

ところでやろう」という韓国の主張があったから、会談をもつ場をどこにしようかというときに、開城というところで会談をしていたんだけど、最終的には 38° 線と実際の対峙している線がまじわっている点。ここに「板門店」というタバコ屋さんがあったの。ふたつの線がまじわっているから、「そこでやろう」ということで、たまたま、そこになっただけなの。

結局は、実質の対峙してるラインで境界線を定めるんだけど、「それでやろう」となって、決着がつくときにどっちがとってるかが問題だから、話し合いが始まってからの、休戦の前の戦いが一番すさまじかったそうです。でもとにかく実質的な戦闘ラインを境界にしようということは決めたの。

● 捕虜のあつかい

もうひとつ、大問題があったの。起こりそうな問題は、わかりますか？ わからないよね。これは、捕虜の問題なんです。捕虜なんて、つかまえてる人をおたがいに交換すればすみそうに思うでしょ。それでは、すまないんですよ。なぜか？

具体的に考えてみましょう。どうして「おたがいの捕虜を交換すればいい」ということにならないんでしょうか。同じ民族であるということがすごく問題になります。こういうことが起こったの。

最初に北がピャーッと占領したでしょ。南の兵隊は捕虜にされるでしょ。ことばが通じるから、「おまえたちは南にだまされてるんだ。オレたちと戦おう」って、北に連れて行かれたら、すぐ北の兵隊にされちゃうの。今度、南が攻めるでしょ。バーッと北の方まで攻めるでしょ。「もう、北の兵隊はイヤだ」って、わざと捕虜になる人が出てくるの。わかりますか？

もともと、南の兵隊だった人が、北の兵隊にされて、捕虜になって南に帰ったの。しかし、その人は北の兵隊なの。わざとに南の捕虜になっただけ。その人を「北の兵隊だから」って帰したら、どうなる？ ヘンでしょ。その人はイヤでしょ。

逆もあるんです。南の方が攻めてきた。南の捕虜になった。「北に帰るのは、イヤだ」っていう人がいるの。わざと捕虜になったやつがいる。

だから、同じ民族で戦争したら、ことばが通じるもんだし、敵だと思っていない側面もあるわけですよ。一般庶民にしてみたら、相手がとなりのおじさんだったかもしれないわけだから。

捕虜といっても、われわれが普通にイメージしてる捕虜とは、まるでちがうものなの。中国人の捕虜もいる。中国人の捕虜のなかには、中国に帰りたくない人もいっぱいいる。「その人をどうするか？」っていう問題も出てくるの。それをどういうふうにするか。北の方は「そりゃ、北の捕虜は北へ。南の捕虜は南へ。それでいい」って言う。韓国側の言い分は、「そりゃ、帰りたいところに帰してやろうよ」って。北は「なんで、捕虜なんだから、そういうわけにはいかん」って。それで、もめるの。

どうやって解決したと思いますか？ この解決のしかたを見ると、「ああ、やっぱり人間社会というのは知恵があって、えらいもんだなあ」と思います。

第三者が介入するんです。インドが介入したんです。

みんな えーっ！

インドが出てきて、「はいはい。私にまかせてください」「全員、私のところにやってください。みんな引き取って、個別に意見をきいて、彼らにとって不幸がないように対応したいから」って。それ、北は反対したんですけども、結局、第三者であるし、どっちにも偏ってないから説得力があるね。それでのだんです。それで、やっと決着がついて、休戦が実現したんです。

● 戦死者の数

じゃあ、ここで問題。朝鮮戦争では、何人が死んだでしょうか。北と南と両方を合わせた数。それぞれが発表があるんだけど、合わせた数で予想してください。

戦争期間は、1950年6月25日から1953年の7月27日までです。私が生まれる前の年に終わってるんですよ。その期間で死んだ数。

そのころの朝鮮の人口は4000万人でした。

日清戦争で死んだ日本人の数が1万人ぐらいです。日露戦争で死んだ日本人は10万人ぐらいです。太平洋戦争で死んだ日本人は240万人ぐらいです。これを参考に選択肢をつくりましょう。

｜【問題】朝鮮戦争で、戦死した韓国＝朝鮮の人たちは、どれぐらいでしょうか。

｜ア. 1万人

｜イ. 10万人。

｜ウ. 100万人。

これは、いくつか数字が出ていますが、アメリカの研究者によると、約400万人です。和田春樹（1938- ）って、いわゆる左翼系の学者さんですが、この人によると、韓国側の死傷者が133万人、北朝鮮側が274万人、合わせて407万です。これには国連軍＝米国軍、中国軍は入っていません。それを入れると10万人ぐらい戦死者が増えます。すごい戦争でしょ。

日本で、われわれが教わった朝鮮戦争は「あの戦争によって景気が良くなりました」ということでしょ。そんなことを言われたら、「なにが景気だ」って腹が立ちますよ。太平洋戦争の日本の戦死者よりも多いんだから。

予想のときに出てたけど、内乱は、すごい悲惨なことになるの。たとえば、アメリカでも一回、内乱があったのを知っていますか？ 南北戦争（1861-1865）があったでしょ。南北戦争で何人ぐらい死んだか。

北軍が 36 万人以上で 南軍が 29 万人以上だから、合わ たら 60 万人以上です。日本ではまだ江戸時代だったから、むかしの話でしょ。近代 兵器もないね。それでも 60 万人が死んでるんですよ。

アメリカは、第二次世界大戦で、日本やヨーロッパの国ほど死んでないから、南北戦争の戦死者は、第二次世界大戦の 2 倍です。すごい数でしょ。アメリカにおける南北戦争というのも、すごいキズなんですよ。いまだにキズをおってるの。南と北で、どうしても乗り越えられない壁のようなものをもっちゃった。国内戦というのは、そういうことになっちゃう。

● 休戦調印を拒否

朝鮮戦争が休戦するのは、1953 年 7 月 27 日。休戦するときには、文書を交換するわけですよ。サインをしますね。だれがサインをするの？ 金日成と李承晩？ それから、国連軍だけ

文在寅 2017 撮影

ら実質はアメリカ軍。

このときに李承晩がとんでもないことを言い出すんですよ。それは「サインしない」と言い出すの。いまも、そのままなんですよ。

休戦はしています。アメリカと北朝鮮はサインしてるから。李承晩は「休戦の妨害はしないけど、オレはサインしない」って、最後までサインしなかったの。けども、妨害はしないってことだから、一応、成り立って、国連軍の代表としてアメリカはサインしてるの（調印者：金日成朝鮮人民軍最高司令官、彭徳懐中国人民志願軍司令官、M.W.クラーク国際連合軍司令部総司令官）。

だから、いつも北朝鮮は、アメリカと話をしようとするの。いまでもそうでしょ。ことし韓国の大統領に就任した文在寅（1953- ）さんは「北に歩み寄ろうとしている」と言われているけれども、文在寅大統領がいくら呼びかけても、北は返事もしないでしょ。北はアメリカとの話し合いで解決しようとするんですよ。

● 韓国の国交

朝鮮戦争が終わったのは、1953 年 7 月 27 日です。じゃあ、韓国はその後、ソ連や中華人民共和国と国交を結ぶことができたと思いますか。現在、韓国はソ連や中国と国交を結んでいるでしょうか。

国交を結ぶということは、「おたがいに大使館をおいて」っていう関係をもっているかどうか。「国交がない」というのは「大使をおかない」ということで、「大使をおかない」というのは、「その国で事件が起きたときに、その国における日本人の安全の確保とかができない」ということです。「勝手に行ってる」ということです。

日本と台湾の関係がそうですから、台湾で事故があっても、政府はなににもできないんですよ。だけでも、友好関係にあるから、日常的にそんなことはないけれども、タテマエ上は、そうなんです。国交がないということは、そういうことです。

- | 【問題】 韓国は、ソ連（ロシア）や中国と国交ができたか。
- | ア． 両国とも国交を結ぶことができている。
- | イ． ロシアとはできたけれども中国とはできてない。
- | ウ． 中国とはできたけれどもロシアとはできてない。
- | エ． 両方ともできてない。

これは、両国ともできていま……す。いつできたか？ 冷戦崩壊後です。

ソウルオリンピックがあったでしょ。1988年のことでしたが、両国とも参加しているんですよ。その後、冷戦崩壊があるでしょ。それを機に、1990年に韓国も北朝鮮も同時に国連に加盟します。同時に国連に加盟する条件は、「お互いを認める」ということなんですよ。

冷戦崩壊は、すごく大きなできごとだったんです。ここで一挙にことが進むんです。そうして、国交回復を韓国はしました。ソ連とは1990年、中国とは1992年に国交を回復しました。

大韓民国と国交のある国

2017年現在、キューバ、シリア、マケドニアと国交を有していない。
(それらの国と日本の国交はある。)

韓国は、なにを契機に発展したのか？ 日本の復興の契機は朝鮮戦争だって、よく言うでしょ。韓国にとっての契機はベトナム戦争なんです。ベトナム戦争によって景気がもちなおします。それまで、最貧国だったの。いまもアフリカの貧しい国があるでしょ。1953年までの韓国は、そういう国だったの。

それが、ベトナム戦争に参加することによって、いっぺんに伸びていくんです。その背景には「日本が経済援助した」ということもあるんですけどね。

経済的に発展して、オリンピックを開き、1996年OECDに加盟というような形で、日本の高度経済成長の倍ぐらいのスピードでビューッと伸びたんですよ。

ところが、アジア通貨危機（1997年タイ発）というのがやってきて、バタツとなって、そこから低迷して現在にいたります。

だけでも、朝鮮戦争のあと、最貧国から、経済的に先進国まで飛躍しました。

● 韓国の貿易

地理の部で問題にしたんだけど、韓国の貿易量、輸出額と輸入額を合わせた金額は、世界何位だと思いますか？ 1位はどこですか？ 中国。2位が？ アメリカ。3位が？ ドイツ。4位が？ 日本です。5位は？ 5位がわからないね。これ、フランスです。「韓国はいつ出てくるんだろう」って思うんだけど、韓国も10位以内に入っているんですよ。ロシアとかカナダよりも上です。イタリアもぬいています。すごいでしょ。韓国って、すごい貿易大国なんですよ。人口が日本の半分もないのに、日本とも極端に変わらないくらいの貿易をしている。すごいことですよ。

かずき GDPとはまたちがう？ ひとりあたりのGDPは、そこまで大きくないよね。

そうです。でも貿易額はすごい。だから、世界に与えている影響はすごく大きい。中国が1位の貿易大国なんですけど、中国の貿易相手国の第2位が韓国なんですよ。大きいでしょ。韓国って、すごい貿易大国なんです。短期間でそこまで発展したんです。

だから、ひずみも大きいんですよ。現在、「格差がすごい」とか言われているけど、そりゃ、ひずみも出てくるわね。日本も高度経済成長のために公害問題とか、いろんな問題が起こったでしょ。同じように問題が起こるんです。それがいまの韓国だということです。

● 戦後の北朝鮮

北朝鮮は、どうか。北朝鮮は、日本の植民地時代のインフラがたくさん残っていたんです。北の方にダムがあったの。だから、電力が豊富にあったの。それをもとに重化学工業が発展して、戦争が終わった当初からソ連の指導が入って、「五ヵ年計画」をやったりして、朝鮮戦争の直後は、北朝鮮の方がうんと発展したの。

ところが、共産主義は、やっぱり頭をうっちゃって、発展しなくなる。

朝鮮戦争のあと、中国とソ連がもめるの。スターリンが死んだあとが問題になった。スターリンが死んだ（1953.3.5）あと、フルシチョフ（1894-1971）というのが出てくるのね。それまでのスターリンの方針が「世界じゅうをみんな共産主義の国にすればいい」と言ったんだけど、フルシチョフは「そんなの、できっこない。アメリカを見てみろ」と。「もう、いいんだ。共産主義は共産主義。アメリカと両立すりゃあいいじゃないか」という路線を出すの。

そしたら、毛沢東がたてつくの。「いままで言ってたこととちがうじゃないか。そんなことじゃダメだ。国際共産化をすすめるんだ！」と言って、国内だけでも純粋な共産化をすすめるっていう、「文化大革命」（1966-1976）のようなことをしたりしていったんですよ。

で、そのあいだに立った北朝鮮は、どうしたか？ スターリンが死んだあと、フルシ

チョフが出てきたときに、フルシチョフはスターリンを批判したんですよ。「あれは個人崇拝であった」と。まだ生きている自分の同僚も批判します。「あいつらは、みんな個人崇拝されて、ここにいる」って。そう言って蹴落としましたんですよ。

同じように、金日成は、政敵をたおすための口実として、スターリンを批判しているフルシチョフの論理をもちいたの。

それから、「自分たちは、中国の言いなりにもなりたくない」「ソ連の言いなりにもなりたくない」というので、「主体思想」というのを確立します。「その国には、その国の革命のありようがある。その国の文化と伝統に根ざした革命をやればいいんだ」と言った。文化と伝統って、朝鮮における文化といえは、何ですか？

みんな 儒教

そうです。儒教なんですよ。「儒教の精神に根ざした共産主義」をとるの。「儒教の精神に根ざした共産主義」ってなんなの？ でも、そうなんですよ。

だから、いまだに北朝鮮は世襲でしょ。国民はみんな「將軍さまー」ってやるでしょ。あれは、儒教そのものなんですよ。

主体思想というのは、そういう形で独特のものなの。その後、「主体思想が唯一の思想であって、ほかのものは認めない」って憲法に書いたりするの。そのもとに現在があるんですよ。だから、いろんところで軋轢があるんです。

● 統一の動き

じゃあ、北朝鮮は「民主基地論」をとるにいたけれども、武力のことは置いて、「とりあえず一緒にならない？」という働きかけをしたことはないだろうか。

| 【問題】北朝鮮の方から「一緒になろう」と働きかけたことはあるか？

| ア. ある。

| イ. ない。

これは、何度もあるんですよ。一番は、やっぱり、全斗煥（ぜんとかん、1931-。任期1980-1988）が大

全斗煥 1975 撮影

韓民国大統領に就任した直後の1980年でしょう。金日成が「連邦制で朝鮮統一をしましょう。高麗民主連邦共和国をつくりましょう」と言ってきました。でもその案だと、政治的に北朝鮮の人たちが上にくることになっていたの、韓国側は拒否しました。

大統領といっても、全斗煥大統領は、民主的に選ばれた大統領じゃありません。韓国の大統領は、ずっと選挙で選ばれた人じゃない。

最初の韓国の大統領、李承晩という人は、すごく反共的、反日的な人だと言いましたね。この人が没落するんですよ。なんでかという、選挙違反をしたからです（1960年）。それで、全国的にデモが起きます。それで彼はアメリカに亡命してしまいます。そして、むこうで死んだの。

突然の話だから、そのつぎに大統領になった人は、「李承晩みたいな強圧的なことはせずに、民主的にやる」って言ったら、そこらじゅうでデモがおきたの。「こういうふうによれ」「こういうふうによれ」って、みんな、いろんな要求を出す。

このときも、金日成が「連邦制統一国家」を提案しています。

そこらじゅうのデモをみて、「これじゃダメだ」というので、朴槿恵のお父さん朴正熙（ぼくせいぎ、1917-1979）が、クーデターを起こして（1961年）実権を握って、「わしの言うことをきけ！」という感じで、デモとかをおさえたの。

朴正熙さんは、その後、大統領を16年（第5-9大統領、任期1963-1979）もやったんだけど、大統領のときに側近に殺されるの。

朴正熙さんも突然殺されたから、つぎに突然大統領になる人も「今度は民主的にやります」ってやったら、また「こうやれー」「こうやれー」ってデモが起こって、「こりゃ、まずい」というので、またクーデターが起きるの。これが全斗煥です。このときに光州事件（1980）といって、光州というところでデモが起きたのを、全斗煥は軍隊を派遣して惨殺しています。

そして、全斗煥は、大統領をやめるときに、「私の部下で盧泰愚（1932 - 。在任:1988年 - 1993）というのがいるから、彼を大統領にしますよ」って、国民の選挙とかでなく、禅譲でやっちゃうの。

盧泰愚は、どうしたか。「いい政治をします。とりあえず全斗煥を逮捕します」って、自分を指名した人を罰す

盧泰愚 1989 撮影

るの。光州事件の犯人だから。のちに全斗煥には死刑判決が出ます。まるで韓流ドラマでしょ。実際にそういう世界なんです。これは全部、現実にあった話だからね。

こういう展開をしていって、オリンピックのときに外国から「クーデターの大統領の国で？」というのもあったし、国民もお金持ちになってくると、民主主義をめざすようになるから、盧泰愚は「今度の大統領を選ぶときからは、ちゃんと憲法を改正して、投票によって、任期5年にします」という約束をして、大統領になるの。

その約束を盧泰愚は守ったから、そっからあとは、民主的な大統領になるの。盧泰愚大統領のときに、国連に南北が同時加盟（1991）して、その年に南北基本合意書を締結しています。

あと、韓国の歴史としては、日本と韓国がどうやって国交を回復したんだ？ という話が残っています。このナイターで話したのは、〈もくじ〉でいうと、第4部だから、。第5部はまるまる残っています。

長いこと、つきあってくれて、ありがとうございました。(拍手)

編集：浜野純一

宝塚市宝塚小学校